

主催：高知カツオ県民会議
共催：日本カツオ学会

高知 カツオ 県民会議 シンポジウム

第2回

日時

2017年11月9日木
16:30~19:00(開場/16:00)

場所

高知市文化プラザ
かるぽーと(大ホール)
*入場無料

内容

基調講演(1)「日本の水産業復活の鍵、
サステイナブルシーフードを考える」

基調講演(2)「我が国のカツオ資源管理
-WCPFCに向けて」

パネル討論 「高知カツオ県民会議の活動について」

ごあいさつ



尾崎 正直

高知カツオ県民会議会長

高知カツオ県民会議第2回シンポジウムが、多くの皆様のご尽力のもと開催できることを、心から感謝申し上げます。

高知県の県魚であるカツオは、漁業のみならず、観光や食文化の面からも最も重要な資源のひとつです。しかし、近年、高知県のカツオの漁獲量は減少しており、この原因として熱帯域におけるまき網による大量漁獲が考えられることから、国際的な資源管理の強化が望まれています。

このような中、カツオ資源に危機感を共有する有志によって「高知カツオ県民会議」が発足いたしました。4月には第1回のシンポジウムを開催し、カツオ資源を取り巻く問題と、今後の県民会議の方向性を多くの県民の皆様と共有しました。その後、当県民会議の4つの分科会が活発に活動する中で、各々がカツオに関する理解を深めてまいりました。

さらに、本年12月には、フィリピンで開催されます国際的な資源管理の議論の場である、中西部太平洋まぐろ類委員会の年次会合に当県民会議からの参加を計画しております。

本日のシンポジウムは、年次会合に向けて、2題の基調講演や、パネル討論などをとおしてカツオの消費や資源問題に関する議論を深め、多くの皆様の意識の醸成を図りたいと考えております。

今後も、「高知カツオ県民会議」の活動を通じ、カツオ資源の現状に対する危機感を多くの県民の皆様に共有いただき、さらに世論として広く国民の皆様に浸透していくことにより、国際的な協議の場での国の交渉を後押しし、資源管理の強化と資源の回復が実現するよう、皆様とともに取り組んでまいります。

プログラム 司会:井津 葉子(RKC高知放送アナウンサー)

- 16:30 ● 開会
- 16:32 ● 開会挨拶
- 16:35 ● 来賓祝辞
川島 秀一 日本カツオ学会会長 | 東北大学教授
- 16:38 ● 基調講演(1)「日本の水産業復活の鍵、
サステイナブルシーフードを考える」

花岡 和佳男 (はなおか・わかお)
 (株)シーフードレガシー 代表取締役 | サステナブル・シーフード・コンサルタント
[プロフィール]
 養殖事業会社、国際環境NGO勤務を経て、2015年に株式会社シーフードレガシーを設立。
 シーフードレガシーは、海と人とのつながりを象徴する水産物(シーフード)を豊かな状態で未来世代に継いでいきたい(レガシー)という想いのもと、水産に関する社会・経済・環境におけるサステナビリティの実現のため、企業へはサステナブル・シーフードの調達やトレーサビリティ・システムの構築をサポートし、またNGOへは活動をサポートし、両者を戦略的にネットワーキングする、コンサルティング&プラットフォーミング組織です。
<http://seafoodlegacy.com/ja/>
*GSSI(Global Sustainable Seafood Initiative) 運営理事
 *GSRA(Global Seafood Rating Alliance) メンバー
 *CAS (Conservation Alliance for Seafood Solution) コラボレーター
 *内閣府規制改革推進会議水産WG 専門委員
- 17:08 ● 基調講演(2)「我が国のカツオ資源管理
—WCPFCに向けて」

田中 健吾 (たなか・けんご)
 水産庁資源管理部国際課参事官
[プロフィール]
 1962年、東京都杉並区生まれ。
 1985年、水産庁に入庁。以降、在アンカレッジ総領事館領事、島根県水産課長、(独)水産総合研究センター(現(国研)水産研究・教育機構)本部経営企画室長、水産庁国際課漁業交渉官、漁業調整課首席漁業調整官を経て、現在、水産庁資源管理部参事官として、かつお・まぐろ類やさんま・さば類の国際交渉を担当。
- 17:38 ● パネル討論 「高知カツオ県民会議の活動について」
- 18:55 ● 閉会挨拶
- 19:00 ● 閉会